

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S3 #10 Gadgets That Are Out-Of-This-World!

CONTENTS

- 2 Kanji
- 3 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

10

KANJI

1. 奇想天外な珍道具
2. 世の中、実に便利な道具達が溢れているが、世間は広いもので、使えそうで使えない珍道具という物を研究している方がいる。
3. 名前は川上賢司氏。日本珍道具学会の会長である。
4. 以前、私が運営していたギャラリースペースで彼の展示会をやる機会があったので、今回はその時のおもしろおかしい作品をいくつか紹介しよう。
5. まず「両方行靴」
6. 靴と靴をカカトの部分で接合して、前から後ろから、どちらからでも履けるようにした代物である。
7. これで玄関で靴をそろえなくてもいい、という事らしい。
8. 次に「頭上ロールペーパー」
9. ロールペーパーと、その器具を頭の上にくくりつけることで、いつでもどこでも鼻をかむ事ができる。
10. 最後に「食器タワー」
11. 食器が縦に連なった文字通りの食器タワー。
12. これで小さなスペースでもありとあらゆる食事をする事ができてしまうというものだ。
13. まさに発想の逆理をうたった珍道具。道具と人間との関係を考えさせられてしまう。

CONT'D OVER

14. 川上氏の作品に興味がある人はホームページなどでチェックしてみられてはいかがだろうか？
15. 書籍も発売中である。

KANA

1. よのなか、じつにべんりなどうぐたちがあふれているが、せけんはひろいもので、つかえそうでつかえないちんどうぐというものをけんきゅうしているかたがいる。
2. なまえはかわかみけんじし。にっぽんちんどうぐがっかいのかいちょうである。
3. いぜん、わたしがうんえいしていたギャラリースペースでかのてんじかいをやるきかいがあったので、こんかいはそのときのおもしろおかしいさくひんをいくつかしょうかいしよう。
4. まず「りょうほういきくつ」
5. くつとくつをカカトのぶぶんでせつごうして、まえからうしろから、どちらからでもはけるようにしたしろものである。
6. これでげんかんでくつをそろえなくてもいい、ということらしい。
7. つぎに「ずじょうロールペーパー」
8. ロールペーパーと、そのきぐをあたまのうえにくくりつけることで、いつでもどこでもはなをかむことができる。
9. さいごに「しょっきタワー」
10. しょっきがたてにつらなったもじどおりのしょっきタワー。

CONT'D OVER

11. これでちいさなスペースでもありとあらゆるしよくじをすることができてしまうというものだ。
12. まさにはっそうのぎゃくりをうたったちんどうぐ。どうぐとにんげんとのかんけいがかんがえさせられてしまう。
13. かわかみしのさくひんにきょうみがあるひとはホームページなどでチェックしてみられてはいかがだろうか？
14. しょせきもはつばいちゅうである。

ROMANIZATION

1. Yo no naka, jitsu ni benri na dōgu tachi ga afurete iru ga, seken wa hiroi mono de, tsukaesō de tsukaenai chindōgu to iu mono o kenkyū shite iru kata ga iru.
2. Namae wa Kawakami Kenji-shi. Nippon chin dōgu gakkai no kaichō de aru.
3. Izen, watashi ga un'ei shite ita gyaraŕisupēsu de kare no tenjikai o yaru kikai ga atta node, konkai wa sono toki no omoshirookashii sakuhin o ikutsuka shōkai shiyō.
4. Mazu "Ryōhō iki kutsu"
5. Kutsu to kutsu o kakato no bubun de setsugō shite, mae kara ushiro kara, dochira kara demo hakeru yō ni shita shiromono de aru.
6. Kore de genkan de kutsu o soroenakute mo ii, to iu koto rashii.
7. Tsugi ni "Zujō rōrupēpā"
8. Rōrupēpā to, sono kigu o atama no ue ni kukuritsukeru koto de, itsu de mo doko de mo hana o kamu koto ga dekiru.

CONT'D OVER

9. Saigo ni "Shokki tawā"
10. Shokki ga tate ni tsuranatta mojidōri no shokki tawā.
11. Kore de chiisa na supēsu demo arito arayuru shokuji o suru koto ga dekite shimau to iu mono da.
12. Masani hassō no gyakuri o utatta chin dōgu. Dōgu to ningen to no kankei o kangae saserarete shimau.
13. Kawakami-shi no sakuhin ni kyōmi ga aru hito wa hōmupēji nado de chekku shite mirarete wa ikaga darō ka?
14. Shoseki mo hatsubaichū de aru.

ENGLISH

1. The world we live in is brimming over with tools that are actually useful, but because the world is a big place, there is also a man whose job is researching gadgets that look like they could be useful but actually aren't.
2. That man's name is Mr. Kenji Kawakami. He is the chairman of the Japanese Society of Gadgetry. In the gallery space that I used to manage, I had the chance to host an exhibition of his, so this time I thought I would take the chance to introduce a few of his funny inventions from that exhibition.
3. First, the "Any-Direction Shoes." Having attached two shoes together at the heel, he created a shoe that you can put on from the front or the back. It seems as if the idea behind this was to take away the need to line up your shoes facing the same direction in the hall of your house.
4. Next, we have the "Overhead Toilet Paper." By fastening the roll of toilet paper to your head with the special attachment, you can blow your nose anytime, anywhere.

CONT'D OVER

5. And finally, we have the "Tableware Tower." Plates and utensils—tableware—have been stuck together vertically to form a literal "tableware tower." With this, you'll be able to have a proper meal even in the smallest of spaces.
6. Certainly, all are gadgets that turn the original ideas of their conception on their head! It makes you think about the relationship we as human beings have with tools.
7. People who are interested in Mr. Kawakami's creations, how about checking out his website? His book is also on sale now.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
溢れる	あふれる	afureru	to flood, to overflow
発想	はっそう	hassō	idea, conception
連なる	つらなる	tsuranaru	to stand in a row, to extend
縦	たて	tate	vertical
くくり付ける	くくりつける	kukuritsukeru	to fasten, to tie up
器具	きぐ	kigu	apparatus, utensil, instrument
代物	しろもの	shimono	thing, article
接合	せつごう	setsugō	joining, union
展示会	てんじかい	tenjikai	exhibition
ギャラリー	ギャラリー	gyararī	gallery
運営	うんえい	un'ei	manage, management
珍道具	ちんどうぐ	chindōgu	gadget
逆理	ぎゃくり	gyakuri	reverse principle, opposite logic

SAMPLE SENTENCES

<p>彼の頭はたくさんのアイデアで溢れている。</p> <p><i>Kare no atama wa takusan no aidea de afurete iru.</i></p> <p>His brain is overflowing with ideas.</p>	<p>彼の発想は単純だ。</p> <p><i>Kare no hassō wa tanjun da.</i></p> <p>His idea is simple.</p>
<p>5台の同じバイクが、連なって走っている。</p> <p><i>Go-dai no onaji baiku ga, tsuranatte hashitte iru.</i></p> <p>Five motorbikes of the same model are driving in a line.</p>	<p>日本語は本来縦書きです。</p> <p><i>Nihongo wa honrai tategaki desu.</i></p> <p>Japanese was originally written vertically.</p>
<p>足にロープをくくりつけて、高いところから飛ぶのをバンジージャンプという。</p> <p><i>Ashi ni rōpu o kukuritsukete, takai tokoro kara tobu no o banjī janpu to iu.</i></p> <p>Tying a rope to your legs and jumping off from a high place is called bungee jumping.</p>	<p>この器具は毎日の運動に役立つ。</p> <p><i>Kono kigu wa mainichi no undō ni yakudatsu.</i></p> <p>This apparatus is good for everyday exercise.</p>
<p>これはお客さんに出せる代物ではない。</p> <p><i>Kore wa o-kyaku-san ni daseru shiromono de wa nai.</i></p> <p>This is not something that I can serve to customers.</p>	<p>金属とプラスチックを接着剤で接合する。</p> <p><i>Kinzoku to purasuchikku o secchakuzai de setsugō suru.</i></p> <p>I'm going to join a piece of metal to a piece of plastic with adhesive.</p>
<p>来月のアニメの展示会が楽しみです。</p> <p><i>Raigetsu no anime no tenjikai ga tanoshimi desu.</i></p> <p>I'm looking forward to the anime exhibition next month.</p>	<p>彼女のギャラリーはたくさんの絵を展示している。</p> <p><i>Kanojo no gyararī wa takusan no e o tenji shite iru.</i></p> <p>Her gallery displays a lot of paintings.</p>
<p>カフェを運営するのが、私の夢です。</p> <p><i>Kafe o unei suru no ga, watashi no yume desu.</i></p> <p>My dream is to manage a cafe.</p>	<p>彼はまた変な珍道具を発明した。</p> <p><i>Kare wa mata hen na chindōgu o hatsumei shita.</i></p> <p>He invented another bizarre gadget.</p>
<p>私は逆理の発想で、その難しい問題を片付けた。</p> <p><i>Watashi wa gyakuri no hassō de, sono muzukashii mondai o katazuketa.</i></p> <p>I solved that difficult problem using the idea of reverse logic.</p>	

GRAMMAR

Natsuko : こんにちは。なつこです。Audio Blog シーズン3 第10回「奇想天外な珍道具」。今回も、チャオ・ササキさんと一緒に、このブログについてご紹介しましょう。ササキさん、よろしくお願いします。

ササキ : はい、こんにちは。チャオ・ササキです。よろしくお願いします。

Natsuko : 今回のタイトル、ちょっと難しいですね。あの、ブログを聞く前に、少し説明をしましょうかね。「珍道具」の「道具」は、わかりますよね。Toolのことです。「珍道具」の「珍」は、珍しいという漢字を書きます。ですから、珍しい道具と言う意味です。

ササキ : 「奇想天外な珍道具」となると、ただの珍しい道具じゃないですね。「奇想天外」は、「普通の人を考え付かないほど変わっている」という意味ですからね。

Natsuko : そうですよ。いったい、どんな道具なんでしょうね！さっそく、ブログを聞いてみましょう！

== Blog ==

世の中、実に便利な道具達が溢れているが、世間は広いもので、使えそうで使えない珍道具という物を研究している方がいる。

名前は川上賢司氏。日本珍道具会の会長である。

以前、私が運営していたギャラリースペースで彼の展示会をやる機会があったので、今回はその時のおもしろおかしい作品をいくつか紹介しよう。

まず「両方行靴」

靴と靴をカカトの部分で接合して、前から後ろから、どちらからでも履けるようにした代物である。これで玄関で靴をそろえなくてもいい、という事らしい。

次に「頭上ロールペーパー」

ロールペーパーと、その器具を頭の上にくくりつけることで、いつでもどこでも鼻をかむ事ができる。

最後に「食器タワー」

食器が縦に連なった文字通りの食器タワー。

これで小さなスペースでもありとあらゆる食事をする事ができてしまうというものだ。

まさに発想の逆理をうたった珍道具。道具と人間との関係を考えさせられてしまう。

川上氏の作品に興味がある人はホームページなどでチェックしてみられてはいかがだろうか？

書籍も発売中である。

=====

Natsuko：いやー、ほんとに珍道具と呼ぶにふさわしい道具が紹介されてましたねえ。「両方行靴」、「頭上ロールペーパー」、「食器タワー」。ササキさん、どれか、使ってみたい道具はありますか。

ササキ：そうですねー。どれも突飛すぎて、ここから選ぶのは、究極の選択ですよ。ん、でも、「頭上ロールペーパー」は、花粉症の人にとっては便利かもしれないですよ。見た目を気にしなければの話ですけど。。。

Natsuko：みんながしてればいいんですよ。

ササキ：みんなしてればいいですよ。なつこさん、どれに興味を持ちましたか？

Natsuko：私は、そうですね~。「食器タワー」って、聞いて、一瞬、アフタヌーンティーのサンドイッチとかでてくる、あのセットを思い浮かべましたけど、たぶんまったく上品さが違うんでしょうね。アフタヌーンティーのセットってのは優雅な雰囲気ですけど、この「食器タワー」は、そもそも省スペースが目的ですから、優雅さとは程遠いですよ。

ササキ：だって、この「食器タワー」は、一人暮らしの男の人の食事風景を連想させるでしょ。狭~いところでご飯をかきこんでいるような風景にぴったりな道具ですよー。

Natsuko：なんか食べにくそうですね。それから、この「両方行靴」どう思いますか？あの、私思ったんですけど、引越し屋さんが荷物を運ぶときに、何度も家に入出入りするじゃないですか。そういうときとか、便利かもしれないなって思ったんですけどね。。。

ササキ：う~~~~ん。でも、形を想像すると、ちょっと歩くにくいんじゃないですかね?!これ。

Natsuko：確かに。そうですね、階段とかで転びそう。でも、こういう面白いものを見てみると、自分も少し面白い発想をしてみようかっていう気になってきませんか？

ササキ：そうですね。だれでも、面白い発想をしてみたいっていう欲望を持っていて、その眠っていた欲望をくすぐられるのかもしれないですよ。

Natsuko：この珍道具の発明家の川上賢司さんは、ご自分の発明品を紹介した本を何冊も出しているんですよ。しかも、日本語だけじゃなくて、英語版、中国語版、ドイツ語、フランス語、スペイン語、それから韓国語版も出ているそうですよ。

ササキ:ほ～！インターナショナルに活躍されているんですね。日本だと、こういう珍道具って、面白いこととか、笑いの種みたいに持ち上げられることが多いんですが、海外ではどうなんですかね？

Natsuko:国によって、違うみたいなんですよ。たとえば、韓国とかカナダ、オーストラリアでは、「サイエンス」として持ち上げられる傾向があるそうなんです。それから、ヨーロッパでは、現代アートだって言われるようですよ。

ササキ:はあ～。「現代アート」として捕らえられるのは、少しわかる気もするんですが、「サイエンス」っていうのは、ちょっとよくわかんないですね。。。う～ん、これはリスナーの皆さんのご意見を聞いてみたいところですね。

Natsuko:そうですね。いろいろな国の皆さんが聞いてくださっているとしますので、様々なご意見を聞かせていただくと面白いですね！

Natsuko:ところで、川上氏はWebサイトもお持ちなんですけど、その中で、こういう珍道具を考えることは、「頭の知的なゲーム」だとおっしゃっていますね。発想力を鍛えるためには、逆理の発想が必要だといっています。

ササキ:「逆理の発想」という言葉が出てきたんですが、これちょっと聞きなれない言葉ですが。。。

Natsuko:そうですね。「逆理」というのは、「逆説」とか、英語だと「パラドックス」と同じような意味で、普通の考え方とは逆に考えてみるというような意味なのです。

ササキ:なるほどね。一般の人間は、一般常識とか普通の考え方に縛られて、柔軟な考え方ができなくなってるってのは確かだよな。だから、逆理の発想っていうのは、それをあえて、反対の視点を持って発想をしてみるというわけですね。なるほどー。

Natsuko:だから靴がくつついちゃったりするんですね。それから、川上さんは、自分自身であるために、発想力を高めて、心を豊かにすることが必要だともおっしゃっています。

ササキ:「自分自身であるため」ね。。。確かに皆と同じ発想をしてたんじゃ、人と違う自分自身を確立することはできないですからね。

Natsuko:こうして考えていくと、深いですね。珍道具は、笑いの種だけじゃないですね。発想を変えるきっかけを作ったり、私達の人生を豊かにしてくれるものかもしれないですね。

ササキ:そうですねー、意味深い存在なのかもしれませんね。

Natsuko: やっぱりサイエンスなんですね。皆さんも、是非、この珍道具の世界に触れて、発想力を磨いてみませんか。川上氏について、英語で紹介したサイトもありますので、これはコメント欄で紹介しておきます。是非、チェックしてみてください。それから、残念なお知らせなんですけど、このオーディオブログシーズン3は、今回でおしまいなんです。

ササキ: なんだってー。

Natsuko: 10回にわたって、高村さんの事業活動で出会ったユニークな人達や楽しいイベントを紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。ササキさん、一緒にこのオーディオブログを紹介してくださって、ありがとうございました。

ササキ: はい、僕も高村さんのおかげで、今まで知らなかったユニークな活動をされている人達のことを知ることができて、とてもわくわくする楽しい経験でした。ほんとありがとうございました！

Natsuko: そう言って頂けると嬉しいです。また、次の機会がありましたら、是非よろしくお願いします。

ササキ: こちらこそ、よろしくお願いします。

Natsuko: それでは、皆さん、またの機会まで、さようなら！

ササキ: さようなら。